

**製品名: Nop132 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14796**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	130kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NOL8
別名	NOL8; C9orf34; NOP132; Nucleolar protein 8; Nucleolar protein Nop132
遺伝子 ID	55035.0
SwissProt ID	Q76FK4
免疫原	抗血清はヒト NOL8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1118-1167

**背景**

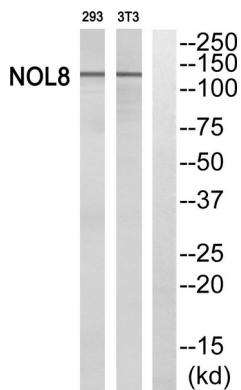
NOL8 は Ras 関連 GTP 結合タンパク質（MIM 608267 を参照）に結合し、細胞増殖に役割を果たします（Sekiguchi et al., 2004 [PubMed 14660641]）。[OMIM 提供、2008 年 3 月],機能: びまん性胃癌細胞の生存に重要な役割を果たす。癌細胞における転写後

レベルでの遺伝子発現の調節、またはリボソーム生合成に関与している可能性がある。誘導：びまん性胃癌でアップレギュレーションされる。PTM：リン酸化される。類似性：1つのRRM（RNA認識モチーフ）ドメインを含む。サブユニット：RRAGA、RRAGC、およびRRAGDのGTP型と相互作用する。NIP7と相互作用する。組織特異性：さまざまなびまん性胃癌で発現している。骨格筋では低レベルで検出される。

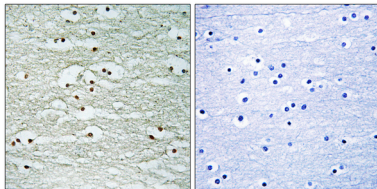
## 研究分野

-

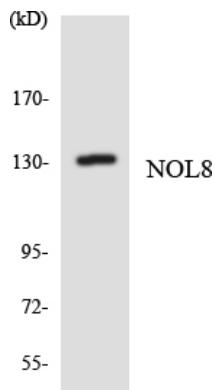
## 画像データ



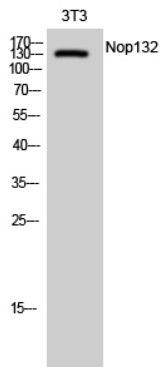
NOL8抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはNOL8ペプチドでブロッキングされている。



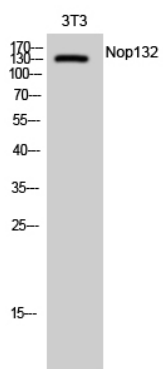
NOL8抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右レーンはNOL8ペプチドでブロッキングされている。



NOL8抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した Nop132 ポリクローナル抗体を使用した 3T3 細胞のウエスタンブロット解析。



1: 1000 に希釈した Nop132 ポリクローナル抗体を使用した NIH-3T3 細胞のウエスタンブロット解析。